

「ProWein 2018 への日本産酒類プロモーションブース出展事業」の様様

平成 30 年 3 月 18 日から 20 日の間、国税庁は総合的な日本産酒類輸出支援事業として、ドイツのデュッセルドルフで開催された「ProWein 2018（プロワイン 2018）」において日本産酒類プロモーションブース出展事業を実施しました。本事業においては、公募により国内酒類関連事業者を募集し、国税庁予算にて出品料、ブース設置費用、広報費を支援しました。

「ProWein」は、国際ワイン・アルコール飲料の見本市、業者向け商談会として、世界最大級の大規模なイベントであり、今年開催された「ProWein 2018」においては、イベント全体で 64 カ国 6,870 者が出品し、会場には 133 カ国から 60,000 人以上が来場しました。

○ 日本産酒類プロモーションブースの概要

開催日時：平成 30 年 3 月 18 日（日）～20 日（火） 9：00～18：00

実施場所：デュッセルドルフ見本市会場（ドイツ・デュッセルドルフ）

実施主体：国税庁

出品者：25 者

○ 今回実施した「ProWein 2018 への日本産酒類のプロモーションブース出展事業」では、日本産酒類の海外における認知度の向上を図るために、日本産酒類プロモーションブースを設置し、国内酒類関連事業者と、海外酒類関係者との効果的なビジネス・マッチングの機会の提供を行いました。

○ 日本産酒類プロモーションブースの出品者は、来場者に対し、積極的に出品酒類の説明をし、試飲を促しました。また、展示ブース内において、各出品者による歴史、原料や製法、こだわり、特徴などの紹介が行われました。



日本産酒類プロモーションブースの様子



試飲・商談の様子

- 日本産酒類プロモーションブースでは、欧州を中心に、アジア、中東、アフリカ、北米、中南米など、世界中の酒類関係者でにぎわい、会期中3日間における商談件数は約700件、そのうち、成約件数については、見込み含めて約250件の成果があり、来場者から良い反響がありました。
- また、展示ブース内にて、日本酒造組合中央会、国内酒類関連事業者、欧州の日本酒専門家を講師としたセミナーを開催し、日本産酒類の魅力や特徴の情報発信を行いました。

【セミナーの概要】

- ① テーマ：「日本産甲州ワインについて」
日 時：3月18日（日）13：15～13：45
内 容：甲州ワインの特徴・魅力について試飲を交えて紹介
- ② テーマ：「日本酒レクチャー（基本編）」
日 時：3月18日（日）15：15～15：45、3月19日（月）11：15～11：45
内 容：製造工程、食事との組み合わせなど、日本酒の基礎知識について試飲を交えて紹介
- ③ テーマ：「日本酒レクチャー（上級編）～日本酒と薫製のペアリングについて」
日 時：3月19日（月）14：15～14：45
内 容：日本酒と西洋の食材との相性の良さについて、生ハムなどとのペアリングを通じて紹介
- ④ テーマ：「日本酒レクチャー（上級編）～日本酒とスイーツのペアリングについて」
日 時：3月20日（火）11：15～11：45
内 容：日本酒とスイーツとの相性の良さについて、チョコレートやマカロンなどとのペアリングを通じて紹介

- セミナーの受講者は、熱心にメモをとり、日本酒の保管方法、食事やお菓子とのペアリングについての質問をするなど、日本産酒類の正しい知識の習得に努めるとともに、その魅力に高い関心を示していました。また、受講者のアンケートでは、「もっと日本酒について学びたい。」「日本酒とお菓子のペアリングが革新的で、興味深かった。更に理解を深めたい。」などの感想が寄せられており、いずれのセミナーも非常に高く評価されました。



多くの受講者でにぎわうセミナーの様子

- 国税庁では、今後も日本産酒類の輸出促進の一環として、世界的に発信力が高い酒類専門の見本市への出展事業をはじめとした日本産酒類の魅力発信、ビジネス・マッチングの機会の提供等に関するさまざまな取組を行っていく予定です。